

## 会議録（１）

会議の名称	平成30年度 第2回飯能市男女共同参画審議会
開催日時	平成30年11月16日（金） 開会 午前10時00分 閉会 午前11時15分
開催場所	市役所本庁舎別館 会議室1
議長氏名	小平 陽一
出席委員	小平 陽一、市村 美由紀、金子 富佐子、草地 未紀、西澤 眞佐恵、 マージラム 知恵、森井 健一
欠席委員	浅沼 健一、荒井 淳次、加藤 巳佐子
説明者の 職氏名	市民生活部長 坂本 実 地域活動支援課長 清水 直子 男女共同参画・国際担当 主幹 紫藤 悦子 男女共同参画・国際担当 主事 岡田 紀子 男女共同参画・国際担当 主事 阿部 言美
傍聴者の数	0名
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職氏名	市民生活部長 坂本 実 地域活動支援課長 清水 直子 男女共同参画・国際担当 主幹 紫藤 悦子 男女共同参画・国際担当 主事 岡田 紀子 男女共同参画・国際担当 主事 阿部 言美

## 会議録（２）

### 議事録の概要（経過）・決定事項

- (1) 男女共同参画推進事業 前期事業実績及び後期事業計画について  
事務局から資料１について説明をした後、審議を行った。
- (2) 各課の取組における評価方法の変更について  
事務局から資料２、２－２について説明をした後、審議を行った。

## 会議録（３）

発 言 者	発 言 内 容
課長	<p>本日は、平成30年度第2回飯能市男女共同参画審議会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます地域活動支援課長の清水と申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">＜資料確認＞</p>
課長	<p>ここで定足数の御報告をいたします。本日は加藤職務代理、浅沼委員、荒井委員が御欠席のため、7名の委員に御出席をいただいております。よって、飯能市男女共同参画推進条例第19条第2項の規定により、本会議は成立しておりますことを御報告申し上げます。</p> <p>それではただいまから、平成30年度第2回飯能市男女共同参画審議会を開会します。お手元の次第に基づき、進行させていただきます。</p> <p>次第2、はじめに、小平会長から御挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p style="text-align: center;">＜会長挨拶＞</p>
課長	<p>続きまして、市民生活部長から御挨拶を申し上げます。</p>
部長	<p style="text-align: center;">＜部長挨拶＞</p>
課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入る前に御連絡をさせていただきます。本日の会議は、飯能市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、原則公開とさせていただきます。本日、傍聴者の申し出はございませんでしたので、御報告申し上げます。</p> <p>続きまして、次第3、議事に入ります。飯能市男女共同参画推進条例第19条第1項により、「審議会は、会長が招集し、会議の議長となる。」と定められています。ここからの進行は小平会長をお願いいたします。</p>
議長	<p>議事「(1) 男女共同参画推進事業 前期事業実績及び後期事業計画」について、審議いたします。事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<資料1、参考資料1に基づき、事務局が説明>
議長	ただいま、事務局から説明がありました。御質問等がございますか。
委員	参考資料1について、年々審議会の数が減っているから女性委員の比率が上がっているのではないかと考えられます。そもそも、審議会とはどのようなものなのでしょう。また、なぜ近年、審議会の数が減っているのでしょうか。
事務局	まず、審議会は、地方自治法第202条の3に基づくものであり、地方公共団体の附属機関は法令、政令、条例の定めによって、審議または調査を行う機関と規定されております。 また、過去の審議会数と比較すると減少傾向にあるということについては、その都度、必要な審議会が立ち上がり、政策に関与したためだと考えられます。
議長	審議会の数を減らすという方針があるのでしょうか。
事務局	表を見ると、平成24～25年に大幅に審議会が減っていますが、この時代に行政改革があり、審議会の数を大幅に減らしたという経緯があります。平成22～23年頃からそのような議論が持ち上がりました。
委員	中学校で実施している「デートDV防止講座」は、学校の授業として行っているのでしょうか。
事務局	授業の中で実施しています。学校により、学年全体やクラス単位などそれぞれの御希望で実施しています。
議長	講座のマニュアル等、基本方針はありますか。マニュアル等がないと、講座の担当者によって、内容に差異が出ることはないのでしょうか。
事務局	実施に至った昨年からの経緯を御説明いたします。はじめに、所沢市が「デートDV防止講座」を民間団体に依頼して行っており、効果的であるとの情報が得たことがきっかけで、飯能市でも昨年度は名栗中学校で開催することになりました。昨年、全中学校にお声かけした際には、中学校側も啓発の必要性は認識しつつも、実際に授業の時間を割くことが難しいという声や、是非実施してほしいという声がありました。今年度は中学校3

	<p>校から開催の希望があり、いずれも学年全体の約100人規模での開催を予定しています。</p> <p>講座の内容は、お互いの気持ちを尊重してお付き合いをすることなどを、中学生に分かりやすく伝えていただくものです。講座のマニュアル等は特にありません。</p>
議長	<p>資料1について、「一般的にお付き合いを始めることが多いとされる」という文言がありますが、もう少し適切な表現があるのではないかと思います。この文言は、対外的に使う資料で使用しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>この資料は公開の対象になります。文言は今後、検討いたします。</p>
委員	<p>講座名の「デートDV」も中学生に伝わるのでしょうか。</p>
事務局	<p>最近、「デートDV」という言葉を使う講座も多いのが現状です。しかし、違うキャッチコピーで働きかけを行うことも考えていきたいと思えます。</p>
委員	<p>資料1について、私も映画会の際に、図書展示を拝見しました。図書館入口すぐの場所で目に付きやすく、とても良い取組だと思いました。図書展示は今年初めての試みだったのでしょうか。</p>
事務局	<p>図書の展示は今年初めて実施いたしました。</p>
委員	<p>資料1では、展示期間に延べ71回の貸し出しがあったとあります。このような取組をしないと日頃はあまり注目されない分野の書籍なのではないかと思いますが、普段から比較して貸し出しが多かったという評価でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>図書館の職員から、普段よりも貸し出し冊数が増加したと聞いており、展示の効果があったと評価しています。</p>
議長	<p>市民活動センターにも男女共同参画コーナーがありますが、もう少し目を引くような展示に改善する必要があると思います。配架されている本も古いように感じています。</p>
事務局	<p>見直しいたします。</p>

議長	<p>他に御意見、御質問はございますか。</p> <p>それでは、議事「(1) 男女共同参画推進事業 前期事業実績及び後期事業計画」について、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p>
議長	<p>続きまして、議事「(2) 各課の取組における評価方法の変更」について、審議いたします。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>&lt;資料2及び2-2に基づき、事務局が説明&gt;</p>
議長	<p>ただいま、事務局から説明がありました。御質問や御意見はございますか。この評価方法については、昨年から当審議会「客観的な評価」をテーマとして、課題にしてきた経緯があります。</p>
委員	<p>一般的に評価をする際、理由を書く欄が少ない場合や理由を書く欄がない場合には、アルファベット等のみで評価することの難しさを感じることもあると思います。特に、短期間での急激な変化が見込めない男女共同参画の分野では、何が良くて何が課題であるかという細かな状況に着目し評価として表すには、文章での表現は効果的だと思います。</p>
委員	<p>AからDの評価を、進捗状況及び課題に変更することは良いと思いますが、誰がどのような観点で評価を行うのでしょうか。</p>
事務局	<p>はじめに担当課が記述し、庁内会議で合意を諮り、審議会にて評価をしていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>資料2-2の18「進捗状況及び課題」について、「参加者層が60代～70代の女性が8割を占めていたため、若年層の参加も見込めるようなテーマ設定を検討したい」とありますが、私自身は戦前の男尊女卑の時代と、それ以後の新興的な女性も外に出て働く時代の両方を知っている世代だと自覚しています。その私たちが、映画を観て知るだけでなく、次世代に引き継ぐことが私たちの役割だとも思っています。「この世代しか呼び込めなかった」という評価に留まるのではなく、「この年代の人に何を期待するのか」というところまで検討すると良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>今までの評価方法では、「映画上映会に100人集める」という目標を</p>

	<p>立てると、「100人集まった」というだけでA評価となり、今おっしゃっていただいたような部分を評価することができない方法でした。</p> <p>また、啓発は実施して終わりではなく、事業に継続性を持たせて展開していく必要があると思います。御意見ありがとうございます。</p>
議長	<p>当審議会で、文章での評価すべてを審議することは難しいと思います。来年からは、特に優れた事業や課題が残る事業について審議するということになりますでしょうか。</p>
事務局	<p>特に課題が残った部分などを審議していただくことになると思います。</p>
委員	<p>男女共同参画の啓発が一番届いてほしい、まだ働いていない女性や子育て中の女性に、事業の実施が伝わっていないことを日頃感じています。子どもを保育園に預けて働いている女性は、図書館に行く機会もほとんどなく、市民活動センターは何か特別な活動をしている人でないと利用してはいけないのではないかと思っている人がいるのが現状です。私自身も、仕事中心で、審議会委員になるまで市民活動センターは利用したことがありませんでした。ですから、働いている女性が通勤途中で手に取りやすいように、駅に図書展示コーナーを設ける、パネル展示をするなども検討すると良いと思います。女性の本当の声を聞くことで、評価の中に反映でき、市民と行政との考えの差が少なくなっていくとも感じています。</p>
事務局	<p>貴重な御意見をありがとうございます。働く女性の目線に立った啓発も考えていきたいと思っています。</p>
議長	<p>他に御意見等はございませんか。</p> <p>それでは、議事「(2) 各課の取組における評価方法の変更」について、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p>
議長	<p>それでは、議事について全て終了しましたので、議長の職を解かせていただきます。御協力、ありがとうございました。</p>
課長	<p>小平会長、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第4、その他です。事務局から御連絡をさせていただきます。</p>

事務局	<p>&lt;事務局から連絡事項&gt;</p>
課長	<p>事務局からは以上ですが、委員の皆様から御連絡、御意見はございますか。</p> <p>&lt;連絡・意見なし&gt;</p>
課長	<p>以上をもちまして平成30年度第2回飯能市男女共同参画審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

平成 年 月 日

議長の署名 \_\_\_\_\_